



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四二六号）

白露

はくろ

九月七日

夏休み親子お伊勢さんバスツアー

そろそろ新学期が始まり、子どもたちの通学風景が戻ってきました。いつもより格別に暑かった今年の夏休み、どんな風に過ごしたのでしょうか。

八月後半、五十鈴塾が主催する「夏休み親子お伊勢さんバスツアー」の案内役を務めました。小学生二十二人とその保護者十七人の総勢三十九人です。朝は雨に降られたものの、途中で上がり、蒸し暑い中でも、元気な子どもたちの様子に安堵しました。

外宮の参拝、せんぐう館の見学のあと、バスで大紀町の瀧原宮へ。内宮から離れた所にあることから、「遙宮」と呼ばれる別宮です。ほとんどの方が初めてでしたが、参拝者が少ないこともあって、子どもたちはのびのびと参拝。なかでも、瀧原宮を流れる御手洗場では、子どもたちは「冷たい」と大喜び。しばらく川水に手を浸していました。「何という川ですか」という質問も出て、頓登川の清らかな流れは皆さんの気持ちをつかんだようです。

神域に並び立つ二つのお宮は、瀧原宮と瀧原並宮です。どちらも天照大御神御魂をおまつりしています。平成二十六年の式年遷宮の取材を思い出しました。月光のきれいな夜で、ふたつの宮の神遷りを続けて拝しました。

小学低学年の女子が、「ミッキーマウスの石を見つけた」と教えてくれました。なるほど、小さな丸石が二つあり、それがミッキーマウスの耳のようです。外宮の風宮の石垣にあるハート形の石を説明したので、この子は石をいろいろ観察していたようです。このあと、摂社の多岐原神社では、ほかのキャラクターの石も教えてくれました。

小学低学年が多かったのですが、最後には二拝二拍手一拝も進んでできるようになっていました。宿題の俳句も作ってくれて、バスツアーが伊勢神宮に興味を持つきっかけになればいいと願う次第です。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 第30回 来る福招き猫まつり

全国各地から10,000点の招き猫が集う「来る福招き猫まつり」を開催いたします。

今年は記念すべき30回目のおまつり。

これまでを感謝し、益々の福到来を祈願して「万歳三唱(招)」で盛り上げます。

招き猫たちが万歳をして、一度ならず二度三度と招いてくれる福をお持ち帰りください。

日 時／令和6年9月14日(土)～9月29日(日) 9:29～17:29

場 所／おかげ横丁一帯

主 催／来る福招き猫まつり実行委員会

※主催者側の判断により、一部内容に変更が生じる場合がございます。

● 招き猫現代作家展

今回のテーマは「万歳三招(ばんざいさんしょう)」。

これまで永く続けてこられたこと、皆さまに感謝、そして皆さまとともに万歳!

万歳=両手挙げの招き猫は「人とお金」どちらのご縁も招くといえます。そんな招き猫が「三招」、一度ならず二度三度と招いてくれる、たくさんの福をどうぞお持ち帰りください。

場 所／名産味の館2階「大黒ホール」

【出店予定作家】

天野千恵美、有田ひろみ・ちゃぼ、岡村洋子、小澤康麿、小嶋伸、櫻井魔己子、佐山泰弘、細山田匡宏、水谷満、宮地乃梨子、もりわじん、よねやまりゅう

● 商店猫デジタルスタンプラリー

招き猫作家のもりわじん氏が手掛けた今にも動き出しそうな生き生きとした商店猫が各お店に置いてあります。

そんな商店猫のスタンプをスマートフォンを使って集めると福引が1回できます。

場 所／おかげ横丁一帯

料 金／無料(オリジナルクリアファイル付き)

お問い合わせ／おかげ横丁 総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 神道の装いと作法～狩衣の着用と玉串拝礼の体験～

平安装束に由来を持つ「狩衣」の着用や、神前での「玉串拝礼」などを通じて、神道を体験的に学びます。狩衣は、元々は鷹狩りに際して用いられた衣で、貴族の日常着ともなりました。公家が身に着けている姿や神社の神職が笏を持った姿をイメージする方も多いのではないのでしょうか。

玉串拝礼は、玉串を捧げて神前で拝礼することです。講座では玉串を製作して、参拝の作法を皆様に体験していただきます。

日 時／9月17日(火) 13:30～15:00

場 所／五十鈴塾右王舎

講 師／新田恵三(皇學館大学文学部神道学科助手)

参加費／ビジター 1,550円 会員 1,050円(神代含む)

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

はぎ
萩

萩は草かんむりに「秋」と書きます。芭蕉も「白露をこぼさぬ萩のうねりかな」と詠んで讃えたこの花は、秋の七草のひとつです。道明寺入りの葛で白銘を包み、秋風に揺れる花の姿を表現しました。

げっ
月 と
兔

9月になると空気がすっきりとして、夜空の月もいっそう明るさを増します。道明寺生地でこし銘を包み、下界にびよんと降り立った、月の兎に見立てました。

み の り

収穫の時期となりました。伊勢の指定天然記念物である蓮台寺柿は、9月中旬になると地元の店頭に並びます。外郎生地で柿銘を包み、蓮台寺柿独特の角張った姿に似せました。